

## 全国初！いずみの森義務教育学校にマザーズルームを設置 ～健康維持やリフレッシュスペースで教職員の職場環境を改善～

教職員の職場環境を改善するため、公立学校共済組合による「マザーズルーム等設置支援事業」を活用し、いずみの森義務教育学校に全国で初めてとなる「マザーズルーム」を新たに設置しました。

このマザーズルームは、産休や育休明けの教職員のための搾乳スペースの機能のほか、一般の教職員も健康維持や健康回復、リフレッシュすることができるスペースです。

- 1 設置日 8月28日（月）（2学期始業日から）
- 2 設置校 いずみの森義務教育学校（子安町2-18-1）

- 3 名称  
リフレッシュ&リカバリールーム  
（愛称「いずみのほっとルーム」）

#### 4 設置備品

- ・ 冷凍冷蔵庫
- ・ ソファベッド
- ・ 血圧計
- ・ 毛布 など



▲搾乳スペースにはカーテンで仕切りも

#### <参考 「マザーズルーム等設置支援事業」（公立学校共済組合）の概要>

- 目的 学校におけるマザーズルームやリフレッシュルームの整備を支援し、利用状況や課題を把握することにより、教職員の職場環境の改善に役立てる。
- 事業概要
  - ・産休明けの職員のための搾乳、休息などに使用するスペースを設置。
  - ・生理、更年期等の体調不良時の休憩のほか、男性職員の休憩にも使用できる。
  - ・共済組合が備品等の購入費用を一部負担（50万円の助成）

※今年度中に全国で10校程度が設置を予定していますが、本市が全国初の設置となります。